

安曇川河畔林の竹林の保全をエコツアーにした取り組み

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部 会長 ○阿部和子

杉本勝子

三上紀顕

1. 活動方針・目的

森林と平野、琵琶湖が川で結ばれている高島市は、自然の恵みを活かした文化を形成しつつ自然と共存する生活様式が定着しています。“自然や資源を大切に、あるもの探しで高島市の自然・歴史・生活・文化を5感で楽しみましょう”という理念のもと、地域交流創出・エコツーリズムの推進・食育の推進で、環境保全活動と地域活性化を両輪に活動。琵琶湖を中心ということで、笑湖（エコ）活動という形で活動。人と人が交流することにより人の思いが育まれ、繰り返し高島市に来てくださる高島ファンをつくり、「人と人」「人と自然」「人と未来」を繋ぐ地域づくりをすすめ、生物多様性の魅力をびわ湖高島から発信します。

2. 活動内容

トレッキング：“琵琶湖・里山の自然を大切に環境保全に努めましょう”を合言葉に、事前に登山道の整備などをします。エコツアーには、地元の食材のお弁当を準備。地域の観光施設や特産品販売施設などツアー行程に組み込むなど地域と連携して実施。特に、**阿弥陀山**は、郊外学習・教育旅行や企業の研修などの体験用のコースを開拓。地元の宿泊施設にお泊りの学生さんに利用してもらっています。ガイド料は、環境保全整備費用に使います。

登山道の整備：地主さんの協力で新コースの開拓（古道の手甲越えの復活・以前炭焼きに利用されていたコースを観光コースにした乗鞍岳の在原コース・箱観山のCコースと見晴らし台への展望コースを新規に開拓・水無山の尾根コースを新規に開拓など）

歴史ウォーク：①中江藤樹先生ゆかりの史跡めぐりは、中江藤樹記念館・良知館・地元の観光協会などと連携し、旅行会社のツアーなども受け入れています。②継体ゆかりの史跡めぐりは、高島歴史資料館・滋賀県教育委員会文化財保護課などのご協力で実施。

新竹取物語：安曇川一級河川の荒廃した竹林を整備し、竹林再生整備体験をエコツアープログラム化した「新竹取物語」は、こどもから高齢者まで幅広い参加があります。竹林整備体験・竹細工・自然観察・食育・エコクッキングなど豊富な体験ができます。地元の観光協会や宿泊施設と連携した教育旅行や企業研修の受け入れも行っています。3月5月7月10月12月に開催する新竹取物語は、（スタッフ研修・次世代育成なども含む）京阪神の方と地元の方の家族ぐるみの交流が生まれています。竹林整備効果で**自然再生について学習できる場**（レンプクソウ・キクザキイチゲ・カブトムシなど）として価値が向上しました。**活動経費**は補助金に頼らず、ガイド料や参加者からいただく環境整備費をあてています。

3. 他の活動団体の参考となる事例

スタッフ研修・次世代育成などを考慮。里山は使わないと塞がります。繰り返し利用すれば保全活動が楽です。エコツアーでいただくガイド料・環境整備費で公園風の体験会場を作ります。

4. 今後の課題等

広報活動・次世代育成が重要であると考えています。

安曇川河畔林の竹林の保全を エコツアーにした取り組み

湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部

会長 阿部 和子

琵琶湖里山の自然を大切に環境保全に努めましょう

高島市の特徴

森と里と湖がひとまとまりの小宇宙。

近畿・中部の癒しと憩いの場

先人の記憶を刻み込む歴史の深い地域

陸路(くがじ)・海路(うみじ)の出会いの場

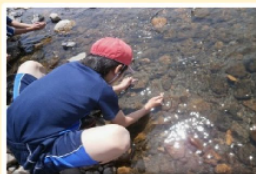
暮らしに生きる里山環境

琵琶湖淀川水系の源流の地



湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部活動

- *産官民が地域資源の活用に向けてウォーキング型事業実施のため発足
 - *ファン倶楽部の会員組織化も並行して進める
 - *当初、滋賀県の補助 後に高島市の補助 現在補助金なし)
 - * 会員向け情報誌「きゃんせ」を年1回発行
ホームページに催事情報など定期的に発信。
- “自然や資源を大切に、あるもの探して高島市の自然・歴史・生活文化を5感で楽しみましょう”という理念の元。地域交流 創出・エコツーリズムの推進食育の推進し**環境保全活動**と**地域活性化**を両輪に活動



2

私たちの活動方針

- 👉琵琶湖を中心ということで**笑湖(エコ)活動**という形で活動
 - 👉人と人が交流することにより人の思いが育まれ、**笑湖(エコ)活動**を、また次の世代の方が引き継いでくれると考え活動を行っています
- ↓
- 👉繰り返し高島市に来て下さる高島ファンを作り、「人與人」「人と自然」「人と未来」を繋ぐ地域作りを進め 生物多様性の魅力をひわ湖高島 から発信します



4

～高島市全域をびわ湖淡水文化博物館とみなす～

笑湖活動

つくり酒屋体験

- A. 登山道の整備 竹林整備
休耕畑・荒れ地の整備・利用
- B. 新竹取物語 C. 食育
- D. 自然観察 E. 歴史ハイキング
- F. トレッキング G. スノーシュー

2015.10.17 新竹取物語～収穫祭～

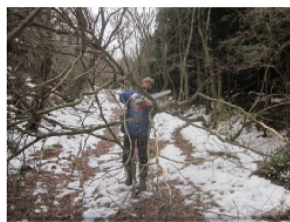
一級河川 安曇川の河原で川作り



5

A-1. 登山道の整備 阿弥陀山

宿泊施設と連携：教育旅行2015,5,20
大阪N小学2年生120人



企業研修など
も受け入れ

ごみ調査



2014,12,2



6

新竹取物語 竹林再生整備体験をエコツアープログラム化



2015,6,1 竹林整備体験 30人
大阪K市 中学2年生 **びわ湖高島観光協会連携**
森林体験:A B 酪農体験 農業体験:A B C
竹林整備(湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部)など8~10
会場で体験。



2009,2,5/6/7 匠の技 吹田扇子さん見学
Dコース 安曇川の恵み、郷土料理と竹釜飯
(湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部が担当)
全国エコツーリズム大会inびわ湖高島

7

笑湖(エコ)ツアー 新竹取物語参加者

- 平成19年度 100人
- 平成20年度 128人
- 平成21年度 212人
- 平成22年度 451人
- 平成23年度 745人
- 平成24年度 592人
- 平成25年度 646人
- 平成26年度 650人
- 平成27年度 784人(2015,12月末現在) 合計 4308人



焼き芋を取り出す



たけのこ掘り

私たちの取り組みの特徴

※活動を長く継続できるように、参加費を安くするため、子供から大人まで楽しみながら体験できるプログラムを実施し、体験料を徴収することで不足する竹林整備費用を補填。

※地域の宿泊施設や観光協会などと連携した教育旅行や企業研修、環境学習を兼ねた高島市周辺のご案内もし、観光施設や特産品販売施設などツアー工程に組み込むなど、結果として地域ぐるみの取り組みに発展。

※エコツアーに食育活動も取り入れ、休耕畑の利用・笑湖クッキング・郷土料理などの体験メニューもたいへん豊富。

※竹林の整備効果で、キクザキイチゲやレンプクソウなどの山野草が育ち、カブトムシなどの昆虫が増えるなど、自然再生について学習できる場としての価値が向上。

※竹林整備が、安曇川の維持管理に役立ち、洪水氾濫防止や不法投棄対策として効果を発

まとめ

- 私たちの活動で高島市の里山は、人と自然の良き生活空間であることを学習し、大人には懐かしい、子供には新鮮な体験が一杯詰まっていると実感しました。
- 今後の課題は、竹林をホームグラウンドとし、心弾ませ高島に繰り返し来て下さる高島ファンがたくさんできるようなエコツアーを創出・展開。地域の環境保全と地域の活性化を両輪に活動し、地域作りに努め、生物多様性の魅力をびわ湖源流の郷高島から発信します。そして、スタッフの技術向上に努め、雇用創出に繋がるように努力します。